

マクロ経済学

次の2問から1問を選択し解答しなさい。

問1. マクロ的生産関数 $Y = F(K, L)$ に関連する次の問に解答しなさい。

- ① 生産関数が規模に関する収穫一定性を持つということの意味について丁寧に説明しなさい。規模に関する収穫一定性を持っている生産関数については、オイラーの定理が成立することを証明しなさい。
- ② 下記のコブ＝ダグラス型生産関数のもとで、資本の限界生産性と労働の限界生産性を求め、技術的限界代替率を求めなさい。また、下記のコブ＝ダグラス型生産関数が規模に関する収穫一定性を持っていることを示しなさい。

$$F(K, L) = AK^\alpha L^{1-\alpha} \quad (\text{ここで, } A, \alpha \text{ は定数で, } A > 0, 0 < \alpha < 1)$$

- ③ 次のような CES 型の生産関数について考えることにしよう。

$$F(K, L) = A \{ aK^{-\beta} + (1-a)L^{-\beta} \}^{-\frac{1}{\beta}}$$

(ここで, A, a は定数で, $A > 0, 0 < a < 1$. また, β は0でない, -1 より大きい実数である.)

この CES 型の生産関数は規模に関する収穫一定性を持っていることを示しなさい。さらに、資本の限界生産性と労働の限界生産性を求めなさい。

問2. 国際間の資本移動が不完全な状況を想定し、マンデル・フレミングモデル (IS-LM-BP 体系) を用いて、①固定為替相場制と②変動為替相場制それぞれのもとでの金融政策の効果について説明し、効果の違いの有無を明らかにしなさい。